

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
105-101	中学校	音楽	器楽合奏	第1～3学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
27 教芸	器楽 027-72	中学生の器楽		

1. 編修の基本方針

編修の趣旨

私たちは音楽科の学習を通して、生徒に「このような資質・能力を育みたい」と願いました。

- 音楽を通して社会と関わりながら豊かな人生を切り拓く力。
- 音楽の幅広い知識や技能。
- 主体的・対話的で深い学びの実現によって得られる、汎用性の高い学力。

こうした課題に取り組むために、次のようなことに留意して編修しました。

基本方針 1

さまざまな音楽文化に
触れられるようにします。

我が国や諸外国に伝わるさまざまな音楽に
触れ、そのよさを感じ取りながら、
表現活動に取り組みます。



基本方針 2

音楽の幅広い
知識や技能を
獲得できるようにします。

楽器の特徴などの知識や、表現活動をするための
技能を確実に獲得できるように、
さまざまな工夫を凝らしました。



基本方針 3

主体的・対話的で
深い学びを促します。

生徒が課題意識をもって友達と対話し、
協働しながら学習することで
学びを深めます。



3つの 基本方針

さまざまな音楽文化に触れられるようにします。
我が国や諸外国に伝わるさまざまな音楽に触れ、そのよさを感じ取りながら、表現活動に取り組みます。

1 和楽器による表現活動を通して、我が国の伝統的な音楽のよさに触れます。

[illegible]

p.34 • 35

[illegible][illegible]

p.56 • 57

各部分の名称

7つの動き

姿勢と構え方

体全体を少しは前に倒して立ち、楽な構えのときに上半身だけを正面に向けます。

前傾 姿勢の例

肩の構え方

肩の構え方

口の構え方

唇は少し閉じて、歯を
上牙も下牙も軽く噛む。
下唇は舌の上の肉に
軽く当たるように。

前傾 姿勢の例

音の出し方

「アーム」を発音するついでで、喉の16へらに息を吹き寄せて、
いろいろな曲調で試してみよう。音の出し方を身につけてしまおう。

また、下の図の16へらの音で練習するといひよう。

息の流れ

息を吐き出すときに、喉の16へらに息を吹き寄せて、
いろいろな曲調で試してみよう。音の出し方を身につけてしまおう。

息の出し方、音の出し方の練習を16へらの音で試してみよう。
(①は 16へら 16へらの音の出し方)

練習の運動は、右の図の16へらに息を吐き出すときに
数字で表します。

数字は数字は、1オクターブ高い音を示すときに
使います。そのほか、同じ音階の音でも、
音を左に1つずつ上げて、息を流すに強く
吹く音を出すようにします。

①一音だけ ②一音だけ

③一音を出した後に息を吐く

①一音だけ ②一音だけ

③一音を出した後に息を吐く

④一音を出した後に息を吐く

⑤一音を出した後に息を吐く

⑥一音を出した後に息を吐く

⑦一音を出した後に息を吐く

⑧一音を出した後に息を吐く

⑨一音を出した後に息を吐く

⑩一音を出した後に息を吐く

⑪一音を出した後に息を吐く

⑫一音を出した後に息を吐く

⑬一音を出した後に息を吐く

⑭一音を出した後に息を吐く

⑮一音を出した後に息を吐く

⑯一音を出した後に息を吐く

⑰一音を出した後に息を吐く

⑱一音を出した後に息を吐く

⑲一音を出した後に息を吐く

⑳一音を出した後に息を吐く

㉑一音を出した後に息を吐く

㉒一音を出した後に息を吐く

㉓一音を出した後に息を吐く

㉔一音を出した後に息を吐く

㉕一音を出した後に息を吐く

㉖一音を出した後に息を吐く

㉗一音を出した後に息を吐く

㉘一音を出した後に息を吐く

㉙一音を出した後に息を吐く

㉚一音を出した後に息を吐く

㉛一音を出した後に息を吐く

㉜一音を出した後に息を吐く

㉝一音を出した後に息を吐く

㉞一音を出した後に息を吐く

㉟一音を出した後に息を吐く

㊱一音を出した後に息を吐く

㊲一音を出した後に息を吐く

㊳一音を出した後に息を吐く

㊴一音を出した後に息を吐く

㊵一音を出した後に息を吐く

㊶一音を出した後に息を吐く

㊷一音を出した後に息を吐く

㊸一音を出した後に息を吐く

㊹一音を出した後に息を吐く

㊺一音を出した後に息を吐く

㊻一音を出した後に息を吐く

㊼一音を出した後に息を吐く

㊽一音を出した後に息を吐く

㊾一音を出した後に息を吐く

5

2 さまざまな音楽と楽器とのつながりを知ることができます。

日本の 伝統音楽の 楽器編成

日本の伝統音楽には、さまざまな楽器が用いられます。ここでは、それぞ
れの音楽で演奏される主要な楽器を紹介します。笛、弦、打楽器の組み合わ
せにも注目しましょう。

管楽器

弦楽器

打楽器

雅楽(管絃)

能狂言

歌舞伎(合奏)

文楽(太夫・囃子)

三曲合奏

民謡・郷土の芸能

新曲八段わらわの鼓 (岡山県森山町)

民謡・郷土の芸能などでは、この他にもさまざまな種類の楽器が用いられる。

※楽器によっては、呼び方が異なるものもある。

99

p.59 日本の伝統音楽の楽器編成

音楽の幅広い知識や技能を獲得できるようにします。

楽器の特徴などの知識や、表現活動をするための技能を確実に獲得できるように、さまざまな工夫を凝らしました。

1 たくさんの写真や図版を用い、分かりやすく説明しています。



p.64・65

2 見やすく、スッキリとした紙面により、スムーズな学習を実現します。

インクルーシブ教育の実現を目指し、特別支援教育や多様な色覚特性などの観点から、基本的に白を基調とした紙面にするとともに、情報の配置の仕方も工夫しました。



p.30・31

p.60・61

主体的・対話的で深い学びを促します。

生徒が課題意識をもって友達と対話し、協働しながら学習することで学びを深めます。

1 キャラクターが主体的・対話的な学習をサポートします。

学びのコンパス 曲の構成を捉えよう

1 曲は①②の2つの部分で構成されています。
演奏を聴いたり1と2のパートのリズムを演奏したりして、それぞれの部分で各パートのリズムや強弱、音の重なり方などどのような特徴があるのか確かめましょう。

②の部分について

2のパートがずっと地打ちを f で演奏しているね。

1のパートは裏打ちだから、2のパートのリズムのついでに f で力強く表現したくなるね。

①の部分について

1と2のパートの役割はそれぞれどうなっているかな？

リズムや強弱は②の部分と比べてどう変わったかな？

2 演奏順序は①→②→①になっています。
①で確かめたことをもとに、それぞれの部分のどのように演奏したいのかを考え、表現の仕方工夫しましょう。

注目するポイント

リズム テクスチャ 強弱 構成

①と②で変化を付けるにはどう演奏するといいかな。

♪ 掛け声

大鼓の演奏にしばしば登場するのが、「ヨッ」「ソーレツ」「ヨイショ」そして「ハッ」などの「掛け声」です。特に「ハッ」は漢字で「破」と書くなど、場面を変えたり勢いを付けたりするときによく使います。
全体をまとめる役の大鼓は大きな声を出して、共演者に合図を送りましょう。

本鼓
マニピュレーター

p.55

学びのコンパス 音の重なり方の特徴を捉えよう

1 演奏を聴いたり、IとIIのパートのリズムを演奏したりして、①～③それぞれの部分について、各パートの音色やリズム、2つのパートの音の重なり方、強弱にどのような特徴があるのか確かめましょう。

①の部分では、IIのパートがIのパートを同じリズムで重ねているね。

②の部分では、前半と後半の2分節で、IとIIのパートのリズムが入れ替わっているね。

③の部分には、強弱に特徴があるのはどの部分かな？

2 ①で確かめたことをもとに、IとIIのパートの音の重なり方に気をつけて、それぞれの部分の表現の工夫をしよう。

注目するポイント

音色 リズム テクスチャ 強弱 構成

①の部分ではIのパートをよく聴いて、同じ速さで続けられるようにしたいな。

②の部分では、2つのパートで一体感を創出したいな。そのためには、どんな工夫をするといいかな。

手拍子と足踏み音の出し方をいろいろ試して、音色や音程を確認してみよう。

手拍子と足踏みで演奏する前に、リズムを声に出して讀んだり、手拍子だけで演奏したりして、確認してみよう。

マニピュレーター

p.85

特に意を用いた点

ギターのダイアグラム

奏者側から見た運指の模式図を併用し、より分かりやすく示しました。

メイジャーコード

C D E F

ダイアグラムは、ギター指板の視覚化された図で、各コードの構成音と指法を示しています。図には、コードの構成音（ド、レ、ミ、ファ、ソ、ラ、シ）と、指法（1、2、3、4）が示されています。

p.102

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
巻頭口絵	打楽器奏者、ドラマーの石若 駿さんのインタビューを通して、楽器やリズムを通して自分の思いを表現することの大切さを感じ取ることができるようになりました。(第二号)	p.2・3
	人が楽器を演奏することについて考え、社会とのつながりの中で理解できるようにしました。(第四号)	p.4・5
リコーダー ～ 打楽器	各楽器の特徴や基本的な奏法を理解することができるように、分かりやすい写真と説明文を示しました。(第一号)	p.10～67
	器楽の活動における表現の工夫など、音楽科の学力を高めることのできる教材を配置し、その学習手順を示しました。(第一号)	p.16・17 p.54・55 p.80・81 p.84・85
	和楽器を活用した学習活動を通して、我が国の伝統的な音楽に親しみ、そのよさを味わえるようにしました。(第五号)	p.34～62
	生徒一人一人の創造性を育成するために、創作の教材を含めました。(第二号)	p.43
	諸外国の音楽で使用する楽器を紹介し、それらを用いる音楽によりいっそう親しめるようにしました。(第五号)	p.63～67
	グループ活動の中で、協働しながら学習を進められるような教材を含めました。(第三号)	p.16・17 p.54・55
アンサンブル	グループ活動の中で協働しながら学習を進めることのできる教材を含めました。(第三号)	全般 特に p.80・81 p.84・85
	我が国の伝統と文化を尊重する態度を育成するために、我が国の伝統的な音楽やその手法を用いた教材を掲載しました。(第五号)	p.92～95
	生徒一人一人の創造性を培うために、リズムをつくったり、即興的に演奏したりすることのできる教材を掲載しました。(第二号)	p.88・89
楽器で Melody	さまざまなジャンルの名曲の旋律をリコーダーや和楽器などで演奏し、それらに親しめるようにしました。(第一号)	p.96～99
資料	我が国の伝統と文化を尊重する態度を育成するために、我が国の伝統音楽にどのような楽器が使われているかを示しました。(第五号)	p.59
	和楽器を演奏している中学生の姿を紹介することによって、我が国の伝統的な音楽や楽器に親しみをもてるようにしました。(第五号)	p.107

編修趣意書

(学習指導要領との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
105-101	中学校	音楽	器楽合奏	第1～3学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
27 教芸	器楽 027-72	中学生の器楽		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

1 学習指導要領に示された内容を確実に学習することができます。

「器楽」の学習活動を通して「学び」を確実にに行えるように、一部の教材に「学習目標」や「活動文」等の他、「学びのコンパス」を示しました。

学習目標………

音楽を
形づくっている
要素

活動文

考えたいポイント

音楽的な見方・考え方を働かせて学習するために、この教材で特に考えたいポイントを例示しています。

聖者の行進

アーティキュレーション

Session I

音の重なり方の特徴を捉えよう

学びのコンパス

SAMPLE

p.16・17

p.84・85

2 楽器の奏法や基本的な技能を確実に習得することができます。

さまざまな楽器の奏法や基本的な技能を分かりやすく説明しました。段階を踏んで無理なく取り組むことができます。

LESSON 1 (金管楽器)

LESSON 2 (弦楽器)

LESSON 3 (打楽器)

LESSON 4 (鍵盤楽器)

吹いてみよう

吹いてみよう

吹いてみよう

吹いてみよう

p.14・15

p.18・19

p.20・21

p.23

和楽器奏者の方々から、専門家ならではのメッセージをいただきました。

和楽器奏者の方々から、専門家ならではのメッセージをいただきました。

三味線 三味線奏者

三味線楽八郎さんからのメッセージ

「三味線」はその名前のとおり、それぞれ青色の真なる3本の糸を、ばらを使って演奏する楽器です。3本の糸からそれぞれのよう音が
出るのか、まずは実際に弾いてみて、その魅力を見つけてください。

p.44

p.50

藤原通山さんからのメッセージ

R氏は、指孔の数が少ないシンプルな楽器ですが、息の指の使い方、首の動きでさまざまな音をつくることができます。シンプルだからこそ無限の可能性をもつ、自分の思いを表現できる楽器だと思います。



p.60

さまざまな楽器による編成や、多彩なジャンルの音楽に触れられる合奏曲を掲載しました。

さまざまな楽器による編成や、多彩なジャンルの音楽に触れられる合奏曲を掲載しました。

p.82

ア 歌一編 ニユー ワールド

A Whole New World (映画「アラジン」から)

人、メンファン 作・曲 佐野 康弘 編曲

最新と世界の異国を舞台にした、
あの映画の音楽に心を奪われ、
色とりどりな衣装を着て、
色とりどりな世界を歩こう。

♪112 くらい

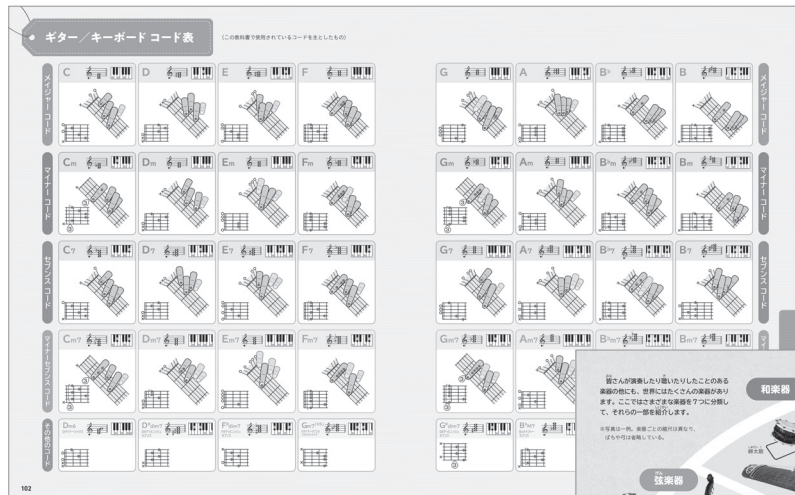
SAMPLE

[illegible]

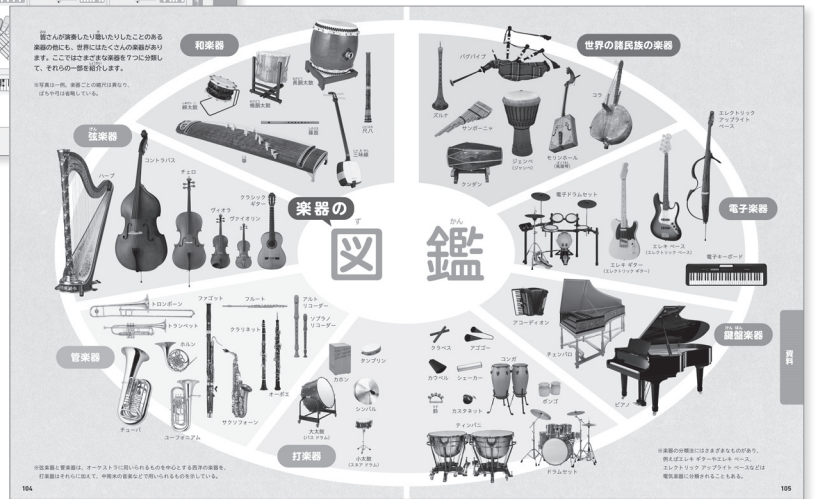
p.92

5 分かりやすい資料を豊富に掲載しました。

器楽の学習をサポートするための資料を豊富に掲載しました。



p.102・103 ギター／キーボードコード表



p.104・105 楽器の図鑑

6 器楽の活動への意欲を引き出す口絵を掲載しました。

学習のきっかけとなる特集ページを掲載しました。



p.2・3 打楽器奏者のインタビューを通して、楽器を演奏することへの興味関心を高めます。



p.107 和楽器の合奏に取り組む中学生を紹介しします。

7 教科書の特徴

基本事項	教育基本法の遵守	●教育基本法第二条の「教育の目標」を達成するため、次のような点を重視して編修しました。 ①音楽を愛好し、音楽によって生活を豊かにする心を育む。 ②音楽科の確かな学力を育む。 ③主体的・対話的に学習に取り組む態度を育てる。
	学習指導要領の遵守	●学習指導要領に示された音楽科の目標を踏まえ、指導すべき内容項目は漏れなく掲載しました。
内容	系統性	●全学年を通して、学習指導要領の内容に示された学習を段階的に進められるよう教材を選択、配列しました。
	配列・分量	●各学校における楽器の整備状況や各楽器を扱う時数等を考慮して、掲載する順序や分量を設定しました。
	学習意欲・主体性の育成	●目次とは別に、「器楽」と「創作」について、1年間の学びを俯瞰することができるようページを掲載しました。(p.8・9)
	リコーダー ～ 打楽器	●各楽器の特徴を理解し、その表現活動に必要な奏法、身体の使い方などの技能を習得できるように内容を精選しました。(p.10～67)
	創作教材	●箏による表現活動と関連させて、スムーズに創作の学習に結び付けられるようにしました。(p.43)
	〔共通事項〕	●一部の教材には、その教材を学習する際の目安となる〔共通事項〕に示された「音楽を形づくっている要素」を示しました。(p.16、54、80、84)
	主体的・対話的で深い学び	●吹き出しなどで生徒の思考や判断を例示することによって、生徒の「思いや意図」を生かしながら「主体的・対話的で深い学び」を実現できるようにしました。(p.43、55、81、85)
	伝統文化の尊重	●我が国の伝統的な音楽に親しみながら、それらのよさを感じ取り、愛着をもつことができるようにしました。(p.34～62、p.92～95、p.98・99、p.107)
	国際理解	●特に「打楽器」のセクションでは、諸外国の民族楽器も取り上げ、諸外国の音楽文化に対する理解も深められるよう配慮しました。(p.63～67)
	社会とのつながり	●生活や社会の中の音や音楽について知り、それらと自分たちとのつながりを実感できる特集ページを設けました。(p.4・5、107)
その他	ICT 機器の活用	●紙面上の二次元コードを読み取ることによって、学習に役立つコンテンツへアクセスして閲覧、視聴できるようにしました。
	特別支援教育への配慮	●特別支援教育の専門家から助言を得て、活動文の配置を工夫するとともに、見やすく分かりやすい紙面になるよう配慮しました。
		●色覚問題の専門家から助言を得て、色の見分けが付きにくい生徒の色覚特性も考慮した配色を採用しました。
	文字・印刷・製本	●ユニバーサルデザインフォントを大部分に使用することで、可読性、可視性が高まるよう配慮しました。
		●印刷は鮮明であり、製本は安全で堅牢な「アジロ製本様式」を採用しました。

2. 対照表

図書の構成						学習指導要領の内容													
ページ	教材名	器楽				創作			音楽を形づくっている要素										
		ア	イ		ウ		ア	イ		ウ	音色	リズム	速度	旋律	テクスチャ	強弱	形式	構成	
			(ア)	(イ)	(ア)	(イ)		(ア)	(イ)										
10～15 18～25	リコーダー	○		◎	◎	○					○				○	○			
16	聖者の行進	◎	◎	◎	◎	◎									○	○			
26～33	ギター	○		◎	◎	○					○	○			○	○			
34～42	箏	○		◎	◎	○					○				○				
43	My Melody						◎	◎		◎		○			○				○
44～49	三味線	○		◎	◎	○					○				○				
50～53	太鼓	○		◎	◎	○					○	○				○	○		
54	風にのって	◎	◎	◎	◎	◎						○				○	○		○
56～58	篠笛	○		◎	◎	○					○				○	○			
60～62	尺八	○		◎	◎	○					○				○				
63～67	打楽器	○		◎	◎	○					○	○							
71	Edelweiss	○	○	○	○	○									○	○			
72	春	○	○	○	○	○					○				○	○			
73	I Got Rhythm	○	○	○	○	○						○			○	○			○
74	笑点のテーマ	○	○	○	○	○					○	○			○	○			
75	海に見える街	○	○	○	○	○									○	○	○		○
76	美女と野獣	○	○	○	○	○									○	○	○		○
77	トリステーザ	○	○	○	○	○					○	○			○	○	○		
78	ブルタバ（モルダウ）	○	○	○	○	○						○			○	○			
80	千の風になって	◎	◎	◎	◎	◎					○	○			○	○			
82	A Whole New World	○	○	○	○	○					○	○	○		○	○	○		
84	Session I	◎	◎	◎	◎	◎					○	○				○	○		○
86	Bodipa Beats Z	○	○	○	○	○					○	○				○	○		○
87	大きな古時計	○	○	○	○	○										○			○
88	クラッピング ラブソディ 第1番	○	○	○	○	○	○			○	○					○			○
90	打楽器のための小品	○	○	○	○	○					○	○				○	○		
92	MATSURI	○	○	○	○	○					○	○			○	○	○		
94	「寄せの合方」によるリズムアンサンブル	○	○	○	○	○					○	○	○			○			
96～99	楽器で Melody	○	○	○	○						○	○			○				